

私たちと一緒に働きませんか？



やりがいを感じる環境づくりをめざして

当院は富士市で開院してから約半世紀、整形外科専門の医療機関として地域医療に貢献している病院です。患者様の手術からリハビリ、社会復帰までを一貫して執り行い、温もりと気配りのあるサービスを心がけております。

患者様からの感謝の言葉を直接いただいた時は何より嬉しいもの。設備の整った病棟で、貴方の純粋な気持ちが患者様に届く医療を、是非当院で実現してみませんか？

求人情報

職種

- ◆ 看護師
- ◆ 看護補助者
- ◆ 事務（総合職）

お問合せ先

TEL : 0545-51-3751

E-mail : info@fujiseikei.com

担当 : 人事担当 渡邊



FujiSeikei MAP!!



富士急静岡バス ひまわりバス（吉原中央駅循環）時刻表 吉原中央駅⇄富士整形外科病院

バス停留所	発着時刻		
吉原中央駅(発)	8:45	9:45	11:15
富士整形外科病院	8:50	9:50	11:20
吉原中央駅(着)	9:15	10:15	11:45

- ◆ 月～土曜日運行
- ◆ 運賃は1乗車200円
- *交通状況により運行に遅延が生じる場合がございますのでご了承ください。
- *定期券は使用できません。
- *2,000円札、5,000円札、10,000円札はご利用できませんので小銭をご利用ください。
- *交通系ICカードがご利用できません。
- *令和4年4月4日改訂

英志会だより
NO.9
2022.12

Cocopura

地域に、医療に、おもてなしのこころをプラス！

特集

創外固定の威力
開院50周年記念式典

下肢機能再建の
スペシャリスト

山崎 修司
YAMAZAKI SHUJI

専門医師の紹介
創外固定の
威力！



整形外科・リハビリテーション科・リウマチ科・内科・麻酔科
医療法人社団 英志会 富士整形外科病院

〒417-0045 静岡県富士市錦町1-4-23
TEL.0545-51-3751 FAX.0545-51-1540
URL <https://www.fujiseikei.com>

富士整形外科病院 検索



創外固定器



特集 創外固定の威力!

骨折治療に大きな威力を発揮するとされている「創外固定」。一般の方には、あまり馴染みのない治療法ですが、難治性骨折の治療はもとより、体の外から骨や関節の形状を操作するという画期的な技術で、骨延長術や骨欠損部再建といった創外固定でなければ治療することができない疾患も数多くあると言われています。本日は、日本の創外固定の総本山である「日本四肢再建・創外固定学会」の第38回学会長に選出されました、当院副院長の山崎修司先生にその魅力について解説をいただきました。

q1

まずは学会長のご就任、誠におめでとうございます。
2025年の学会開催に向けた抱負をお願いしますでしょうか。

この度、令和6年度開催の第38回日本四肢再建・創外固定学会学会長に選任されました。この様な大役で責任の重大さに身の引き締まる思いです。

日頃よりお世話になっております関係者の皆様、また小生を創外固定の道に導いて下さいました北海道大学の恩師であります門司順一先生

には心より感謝申し上げます。学会では志を共にする多くの医師やメディカルスタッフが全国から、ここ富士市に集結し白熱した議論が繰り広げられます。日本の医療、地域の医療の為、そして患者さんの為に、心を込め、想いを込めて開催準備をして参る所存です。

q2

一般の方には、創外固定はほとんどなじみの無い言葉だと思います。この治療法の概要について教えてください。

少し専門的な話になってしまいますが、創外固定は、骨折治療において経皮的に金属製のピンやワイヤーを骨片に挿入してそれらを体外の副子に連結することで骨折部を固定する手術法として始まりました。起源は正確には分かってはいませんが、文献的には1853年のフランスでの報告が最初とされています。その後、1950年代には骨延長という画期的な概念が登場しますが、体外の副子を徐々に伸ばしたりすることでそれを可能としました。

また、技術の進歩によりリング式創外固定器（左ページ参照）が考案され、複雑な変形矯正も可能となり、創外固定の有用性は飛躍的に向上しました。その後もコンピュータープログラミングを用いて正確に変形矯正を行うシステムの導入など、創外固定法は進歩し続けています。

q3

創外固定のメリットと今後の展望についてコメントをお願いします。

創外固定のメリットは色々ありますが、特筆すべきは、患部を展開することなく体外から強固な固定ができることで、特にリング式創外固定では貫通ピンの本数を増やすことで骨粗鬆症により弱くなった骨や、固定が難しいとされる関節近くの固定にも威力を発揮することです。手術に伴う身体への負担が少ないため、高齢者や内科的合併症のある方でも手術が行いやすことがあげられます。メリットが多い反面、高度な技術が必要なため、創外固定を実施する医師は講習を受けるなどしてある程度の手技を習得し、かつ専門施設での研修を行うなどしないと現実的には難しいと思われます。創外固定は患者さんに多くの福音をもたらしますので、若い世代の医師たちへ技術継承を行うことも我々の責務だと考えています。

山崎 修司

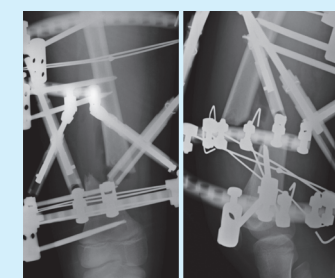
1963年生まれ。北海道小樽市出身。函館ラ・サール高校から北海道大学医学部に進み1991年卒業。整形外科医として大学病院、北海道内関連病院勤務。米国留学などを経て、温暖な気候に憧れて2018年に富士に一族で移住し、同年9月より現職。北海道大学客員臨床教授兼務。医学博士。

創外固定治療の実例



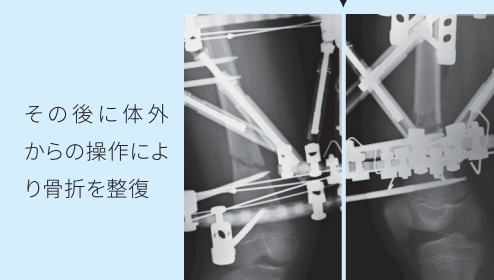
- 10才児の大腿骨骨折
- 成長軟骨がありメスを入れたりプレートを当てるような手術は避けたい症例

治療



切開することなくワイヤーを多数刺入して創外固定を装着

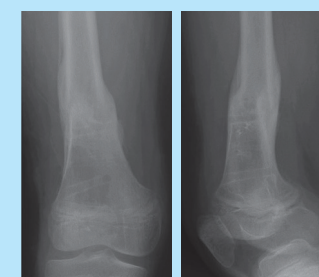
正面像 側面像



その後に体外からの操作により骨折を整復

正面像 側面像

効果



術後2か月で骨癒合が得られて創外固定を抜去



開院50周年記念式典

in ロゼシアター 2022.9.3

式典プログラム

※敬称略

受付及び開場	祝辞	職員親睦会 記念品寄贈	磯部 英美
開会の辞 石川 真太郎	渡邊 正規 (富士市医師会長) 大鳥 精司 (千葉大学) 高相 晶士 (北里大学)	贈呈品紹介	小長井 博夫 (贈呈 グラス会社社長) 牧田 桂輔 (贈呈 菓子会社社長)
アトラクション 吉原依田原地区	児島 章 (富士市立中央病院) 小長井 義正 (富士市長)	閉会の辞	山崎 修司
アトラクション 職員有志	立石 健二 (顧問弁護士) 細野 豪志 (衆議院議員)	記念講演	守屋 秀繁 (千葉大学)
理事長挨拶 渡邊 英一郎	来賓紹介 祝電披露	閉会の辞	長嶺 重男

1 年の延期を経て開催



9月3日(土)、富士市文化会館ロゼシアター中ホールにて、当院開院50周年記念式典を執行了いました。当初 2021 年秋の開催を目指し、企画準備をすすめていた式典でしたが、新型コロナウイルスの影響により、約1年の延期を経て、晴れて挙行することが出来ました。



榎戸教子アナウンサーに司会を務めていただきました。

多くのご臨席



昭和 46 年 9 月に開院してから今日までの歴史を振り返り 50 年の節目を記念する会に、職員をはじめ地元医師会の先生方や関連医療機関の方々、地元企業の外部関係者様約 250 人にご臨席賜りました。



開会の辞 ▶ 祝辞

式典では、石川事務統括部長の開会の辞をかわきりに、職員有志によるフラダンスの披露、地元吉原地区の和太鼓演奏のアトラクションから始まり、渡邊理事長の挨拶、続いて来賓の渡邊正規 富士市医師会長、大鳥精司 千葉大学大学院医学研究院整形外科学教授、高相晶士 北里大学医学部整形外科学主任教授、児島章 富士市立中央病院院長、小長井義正 富士市長、立石健二 顧問弁護士、細野豪志 衆議院議員、皆様からお祝いの言葉を頂戴いたしました。

渡邊 英一郎 理事長



ご来賓の方々 SPECIAL GUESTS

小長井 義正 様



渡邊 正規 先生



大鳥 精司 先生



高相 晶士 先生



児島 章 先生



立石 健二 様



細野 豪志 様



● 恩師からの 温かいメッセージ

職員親睦会より記念品として正面玄関前のオブジェの寄贈、式典の来場いただいた方々への贈呈品の紹介があり、閉式の辞を山崎副院長。式典後には、守屋秀繁千葉大学名誉教授より、50年の思い出を振り返るお話に加え、記念講演として「江戸の名医は死して借財を残す」といテーマで医療というのは世の為、人の為にあるというお話を頂戴いたしました。

閉会后、長嶺管理局長より病院の新体制の報告があり1日の幕を下ろしました。



守屋 秀繁 医師

山崎 修司 副院長

当院は、創設者 渡邊英詩先生が提唱した「おもてなしこころ」を理念とし、コメディカルをはじめとした各専門分野のエキスパートが協力しながら、患者さまをもてなすことで、地域の病院としてのレベルが向上すると信じています。

今後も、診療体制の充実と人材育成に注力し、これまで以上に質の高い医療とおもてなしの提供に努め、地域の方々に真に信頼される医療機関を目指し、職員一丸となって取り組んでまいります。



長嶺重男管理局長

50周年を
記念して

50周年記念誌を作りました！



2022年8月

立体駐車場 完成



2022年8月、待望の立体駐車場が完成。
これまで、駐車場不足により慢性的に起きていた駐車待ち時間の緩和につながりました。



当院をご利用される方々の利便性を高め、少しでも利用しやすい病院を目指します。

NEW DOCTOR

内科 加藤繁夫 先生 ご挨拶



慶 應義塾大学呼吸循環器内科を経て、東邦大学病理研究室で学位を得たのち、四半世紀にわたり、富士を中心に掛川、沼津、三島、網代など県内各地で研鑽を積んでまいりました。両親の支援、小学校恩師の勧めで医師を志し、今の自分があります。これまでの経験を活かし、ミスの少ない医療を目指してまいります。このたび富士整形外科病院の診療の手助けになる内科分野からのサポートに徹します。どうぞ宜しくお願い申し上げます。

趣味 スイミング、スポーツ観戦、ウォーキング